

学術事業報告

学発番号:学13-050

研修会 微生物分野 研修会

日 時: 平成25年11月12日(火) 18:30～20:30

場 所: 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題1: マイコプラズマ肺炎と抗原検査による新しいマイコプラズマ迅速診断キットの

講 師1: 関戸 紗由理 先生 (極東製薬工業株式会社)

講 師2: 福田 剛久 先生 (旭化成ファーマ株式会社)

主 題2: クロストリジウム感染症と迅速診断

講 師3: 原 哲郎 先生 (アリーア メディカル株式会社)

参加数: 総数23人(京臨技会員:16人 非会員・学生7人)

報告者: 山田 幸司 (京都府立医大附属病院 臨床検査部)

以下、講演内容など

今回の研修会では感染症診断に有用なPOCT(Point of care testing)について2題の講演をしていただきました。演題1では、医療感染の原因として注目されている C. difficile 感染症(CDI)とその診断方法についてアリーア・メディカル株式会社原 哲郎先生にお話いただいた。欧米でCDIはMRSA感染症と同程度の対策費用が計上されており、最も注目される感染症である。日本国内の検査室ではEIA法による迅速検査が主に使用されているが、その感度の低さから診断を誤らせる危険性がある。迅速検査と嫌気培養を併用した方法で感度の低さをカバーする方法をお話いただいた。演題2では、マイコプラズマ感染症の話から、新しく発売されたマイコプラズマ抗原検査の特徴を講演いただいた。

紹介